

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
昭和57年7月5日

第13報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	120		
(藍) <i>Anabaena</i> sp.*	60		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	640	○	
(珪) <i>Melosira granulata</i>	260		○
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	280		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	20		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	160		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	160		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	240		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	20		
(緑) <i>Quadrigula lacustris</i>	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1560	◎	◎
(緑) <i>Scenedesmus denticulatus</i>	80		
(藍) 藍藻綱	180	4.6	12.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	640	16.4	5.3
(珪) 珪藻綱	960	24.6	20.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	2.6	5.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	2020	51.8	56.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3900	総体積	3.12E+06
種 類 数	18	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)  
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)  
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1560

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Uroglena americana</i>	640

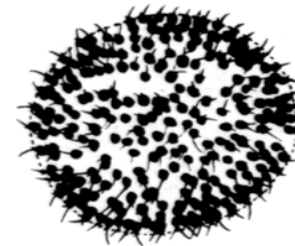
### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ピワクンショウモ)  
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Uroglena americana***  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻綱

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。